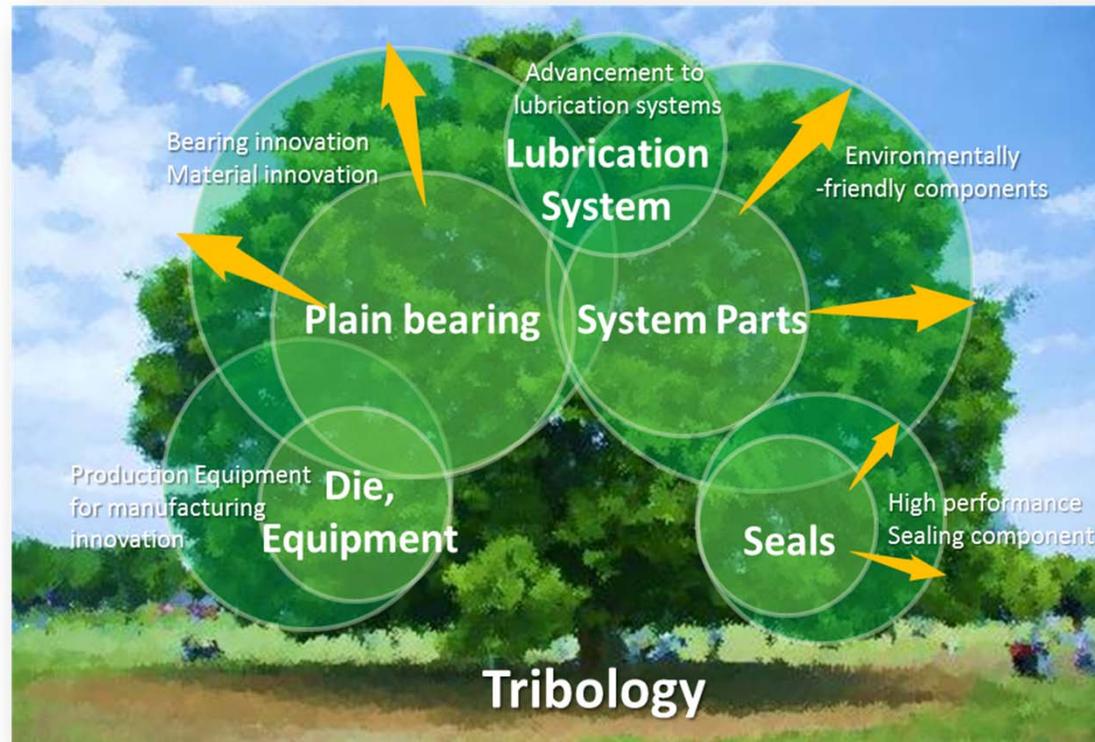


2018年3月期 決算説明会

2018年5月30日



将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている当社業績見通しは、現時点で把握している情報に基づき、当社が判断したものです。実際の業績は、今後の経済動向、市場の需要、為替レートの変動、税制や諸制度など、様々なリスクや不確定要素に左右されます。従いまして、実際の当社業績は見通しと異なる結果になる場合があることを、あらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。

当プレゼンテーション資料に掲載された情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えくださいますようお願いいたします。

目次

1. 2018年3月期 実績

2. 2019年3月期 計画

3. 将来への取組み

2018年3月期 決算の概況 <連結>

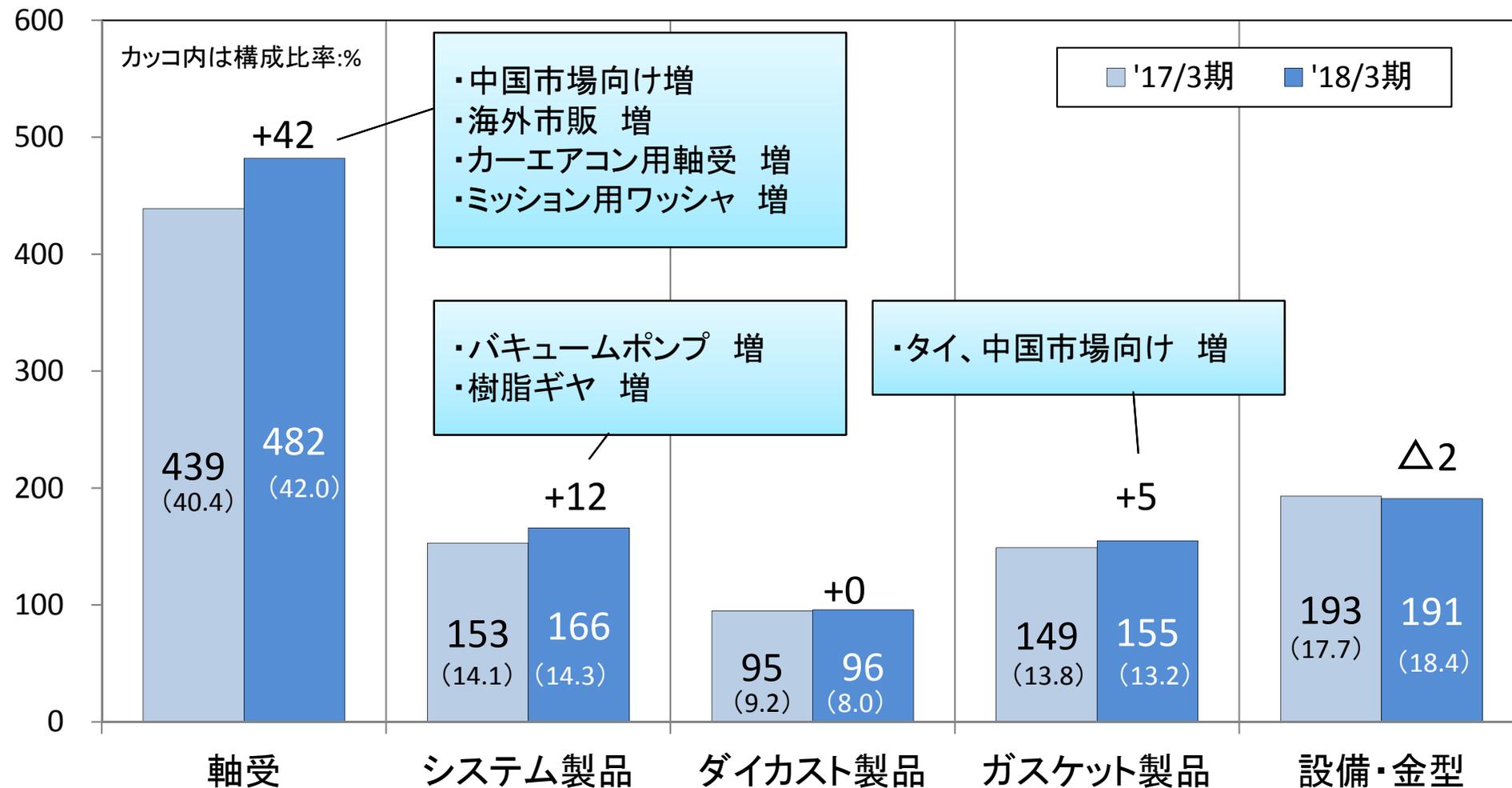
(単位:億円 以下切り捨て)

	前期実績比				公表値比('18/2修正値)			これまでの 最高業績
	'18/3期 実績	'17/3期 実績	増減	増減率	'18/3期 公表値	増減	増減率	
売上高	1,146	1,089	57	5.2%	1,140	6	0.5%	1,089 ('17/3期)
営業利益	68	63	4	6.9%	66	2	0.1%	66 ('16/3期)
経常利益	67	62	5	8.2%	65	2	0.4%	62 ('16/3期)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	42	44	△2	4.4%	43	△0	△1.0%	44 ('17/3期)
為替レート	110円/\$ 129円/€	108円/\$ 119円/€	円/\$ 円/€	—	110円/\$ 125円/€	円/\$ 円/€	—	

売上高、営業利益、経常利益は過去最高
純利益は前期比減(北米 法人税率低減政策 税制変更の影響等)

2018年3月期 製品別売上高 <連結>

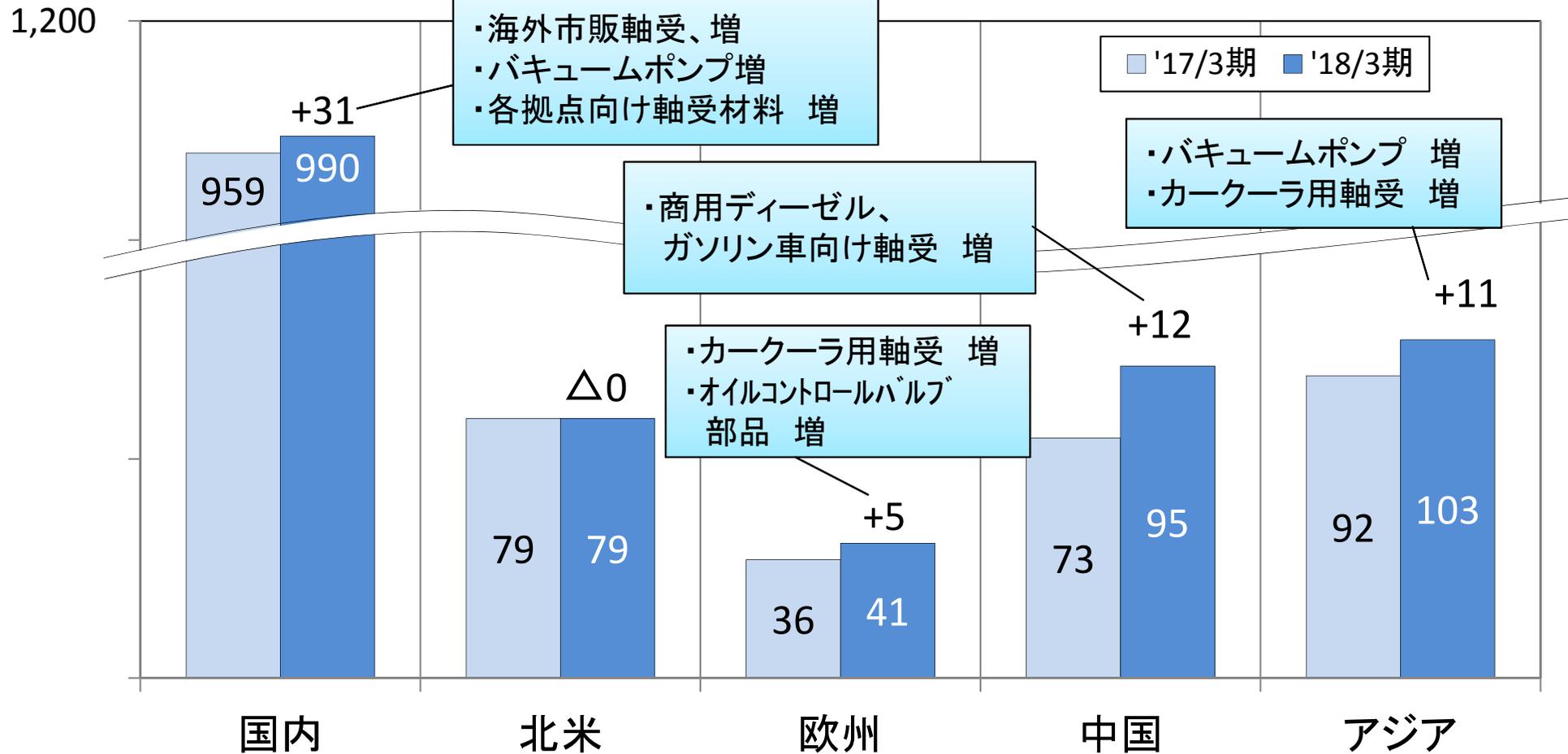
(億円)



軸受、システム製品、ガスケット製品により売上増

2018年3月期 地域別売上高 <連結消去前>

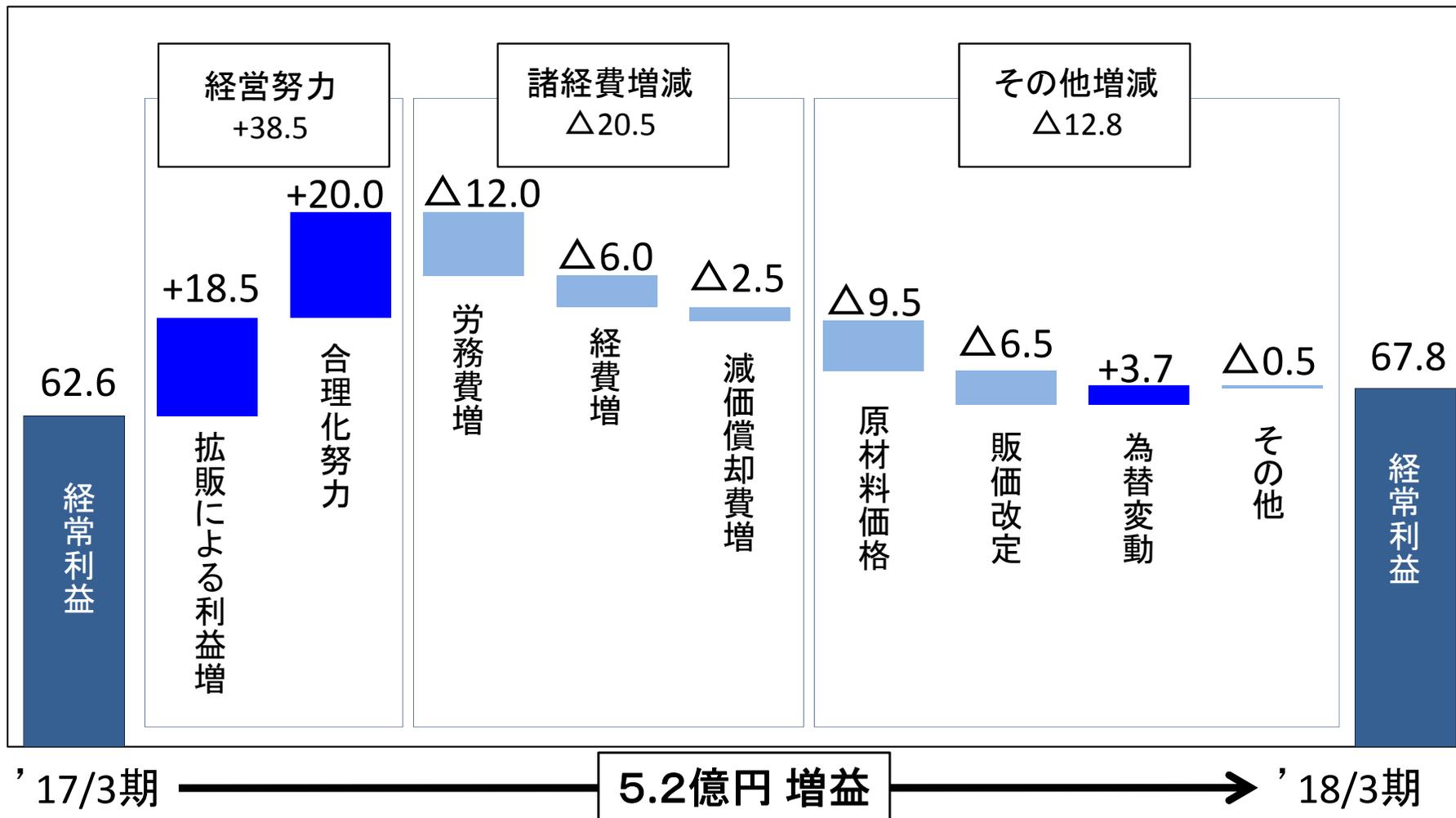
(億円)



中国・アジア市場が好調、すべり軸受を中心に受注増

経常利益増減要因(前期比) <連結>

(億円)



原材料価格の高騰、販価改定の減益要因があるなか、
 拡販による利益増および合理化努力により利益を確保

2018年3月期 決算の概要

【売上高】 1,089億円 → 1,146億円 (+57億円、5.2%増)

＜主な増収要因＞

■軸受事業(+42億円)

中国受注増(+8億円)、海外市販(+12億円)

カークーラ用軸受、ワッシャも好調

■バキュームポンプ(+8億円)

■ヘッドガasket タイ(+3億円) 中国(+2億円)

■前期比円安による為替影響の後押し

＜主な減収要因＞

■設備・金型の受注減(△2億円)

【経常利益】 62億円→67億円 (+5億円、8.2%増)

＜主な増益要因＞

■売上増(+18.5億円)、合理化努力(+20億円)、

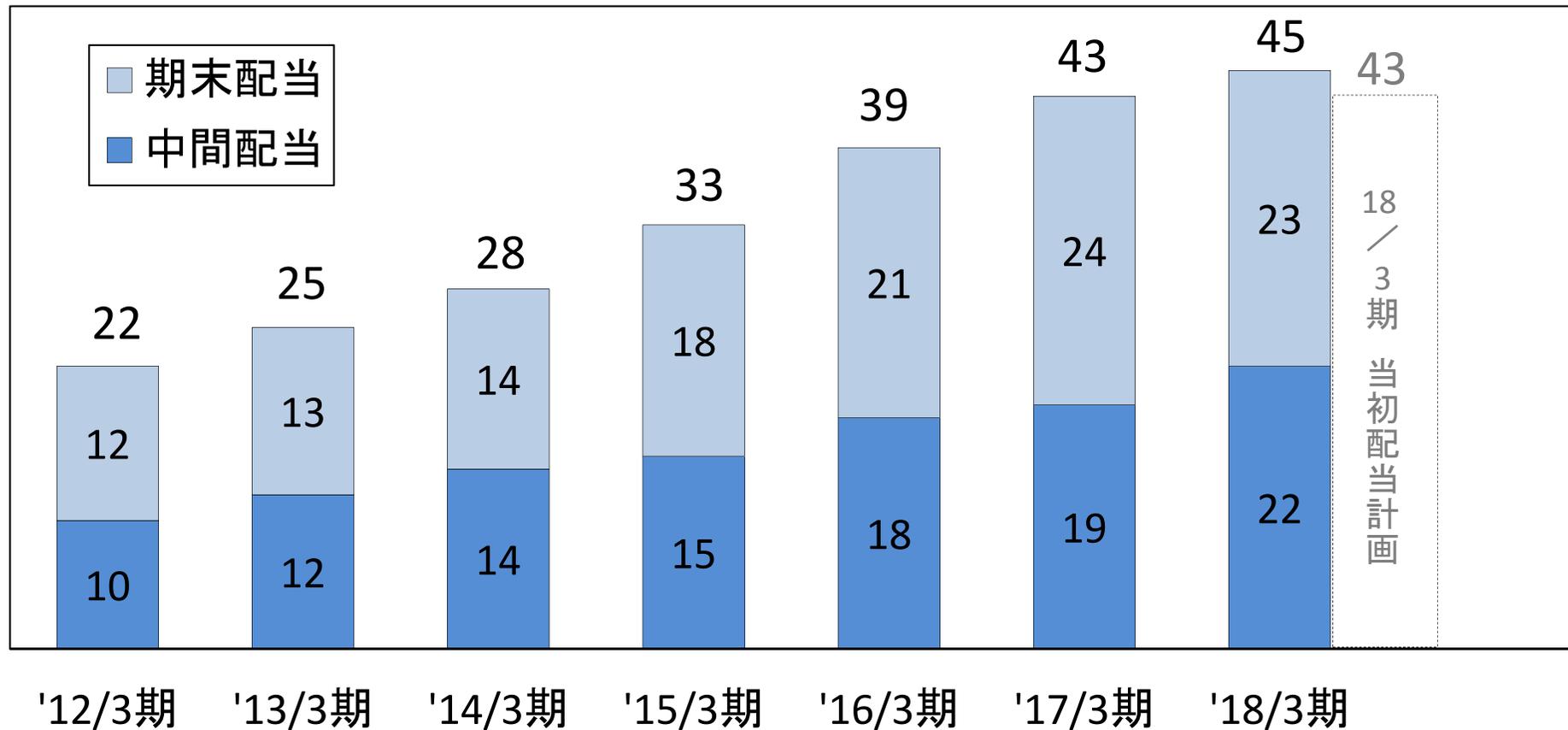
＜主な減益要因＞

■原材料価格の高騰(△9.5億円)、販価改定(△6.5億円)

株主還元

1株当たり配当の推移

(円/株)



18年3月期は業績向上により45円とし、
当初配当計画43円から2円増配

1. 2018年3月期 実績

2. 2019年3月期 計画

3. 将来への取組み

2019年3月期 通期業績計画 <連結>

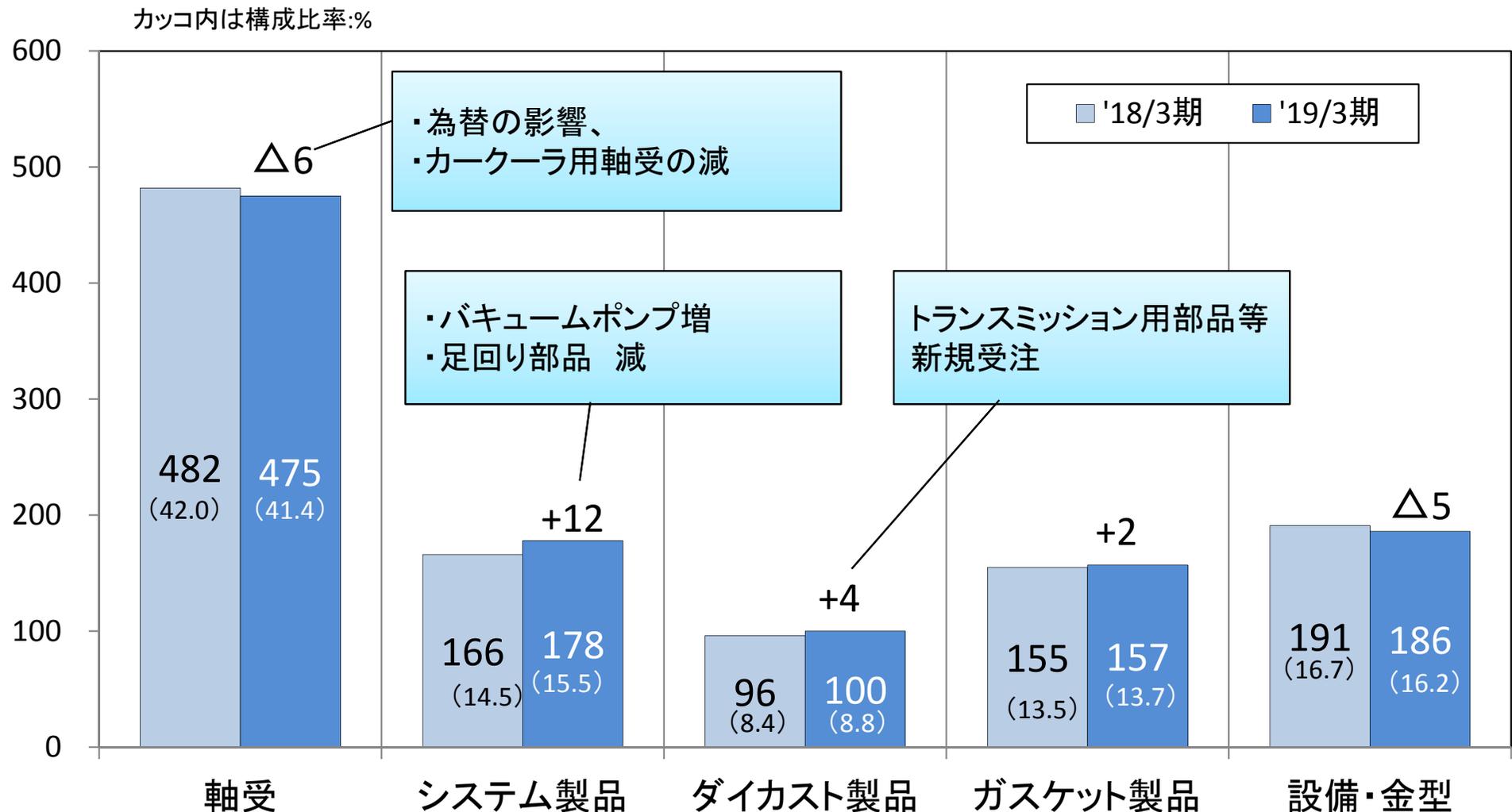
(単位:億円 以下切り捨て)

	通期計画 前期比			
	'19/3期 通期計画	'18/3期 実績	増減	増減率
売上高	1,150	1,146	3	0.3%
営業利益	58	68	△10	△14.7%
経常利益	57	67	△10	△16.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	42	△2	△6.0%
為替レート※	105円/\$ 130円/€	110円/\$ 129円/€	—	—

売上高は増収を計画しているものの、
諸経費の増 等により前期比で減益を想定

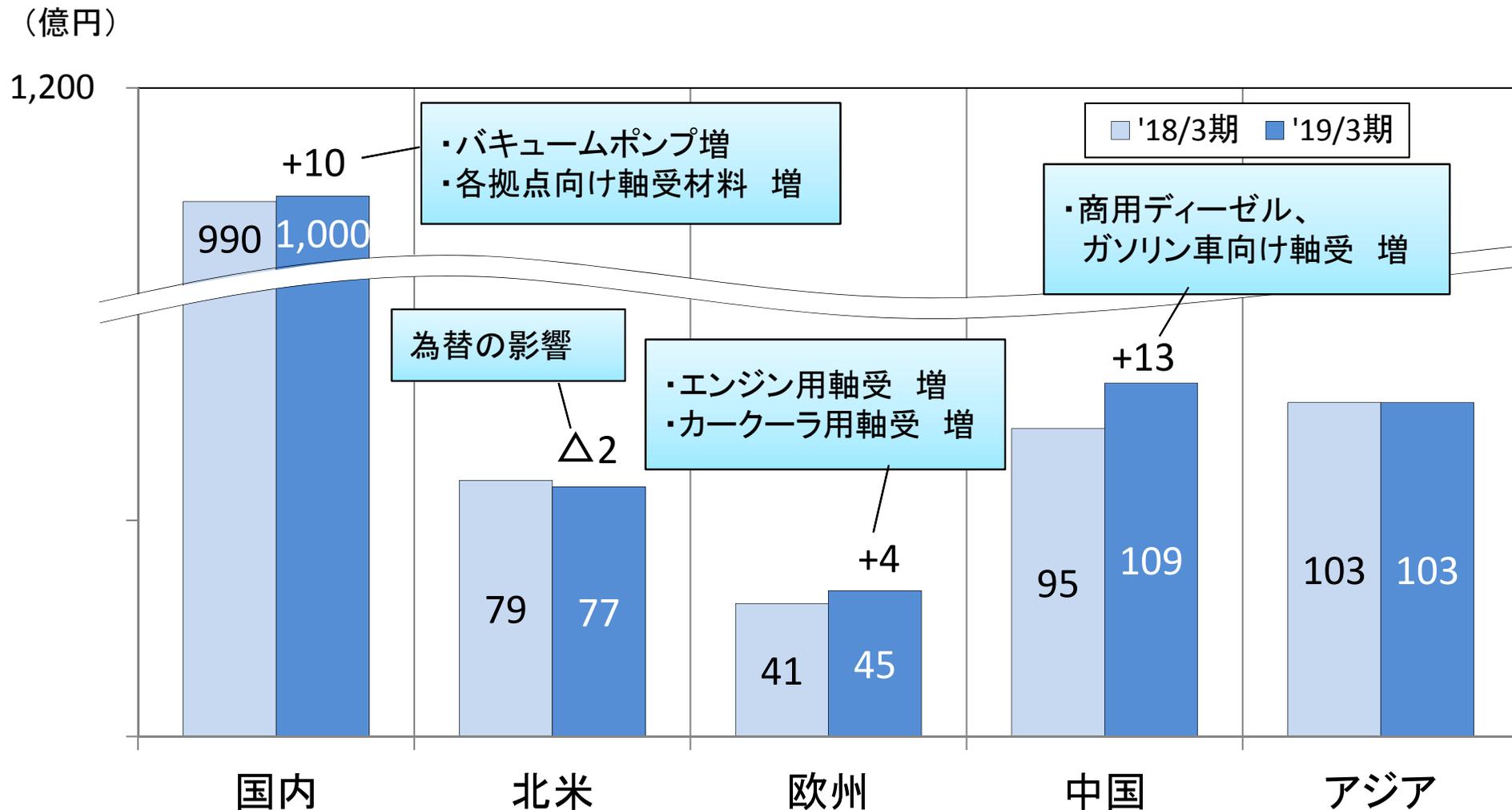
2019年3月期 製品別売上高計画 <連結>

(億円)



システム製品、ダイカスト製品は増
為替の影響、カークーラ用軸受の減で軸受が微減

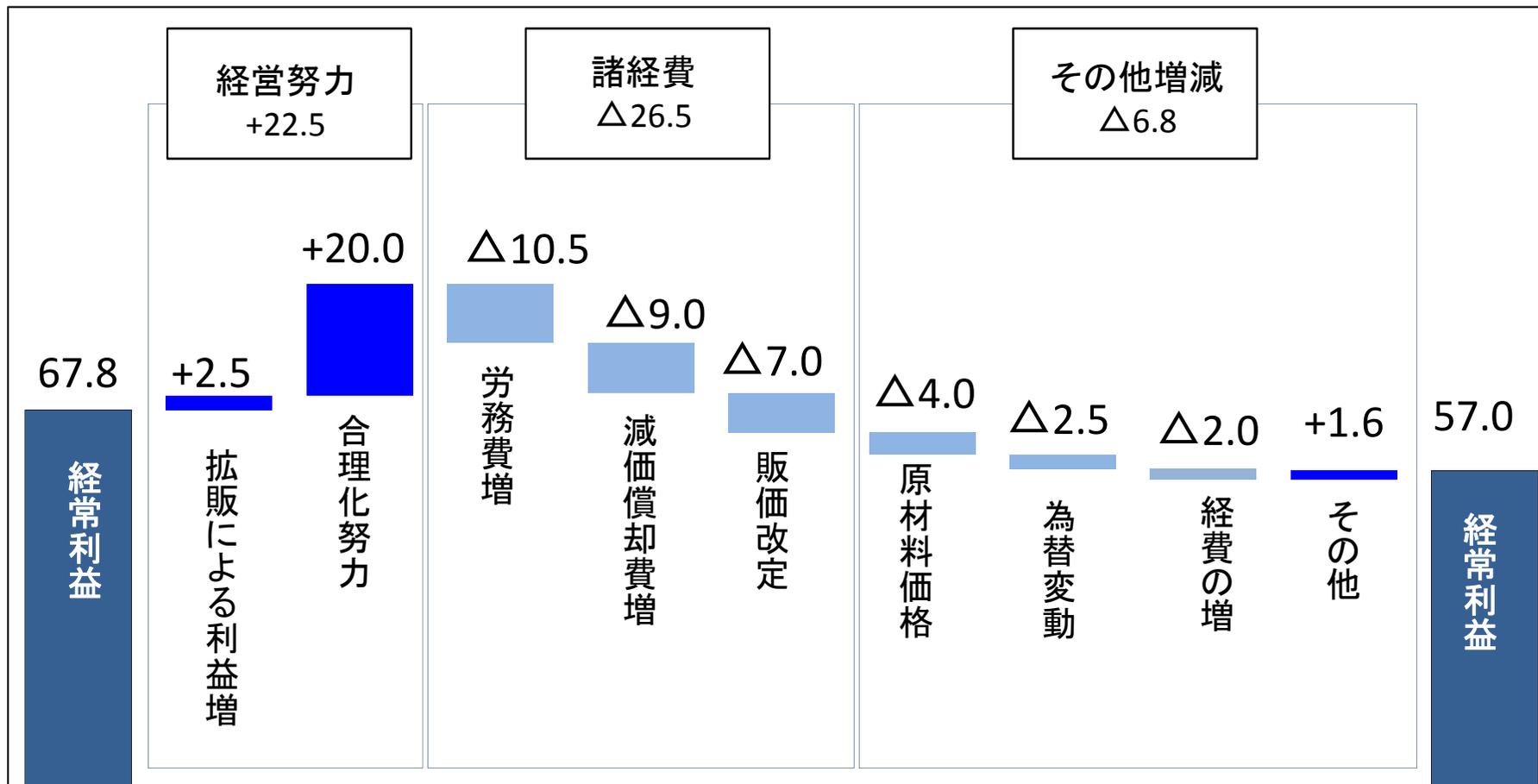
2019年3月期 地域別売上高計画 <連結消去前>



中国は堅調に推移。北米は為替の影響により減。
欧州は拡販により軸受を中心に増。

経常利益増減予測(前期比) <連結>

(億円)



'18/3期

10.8億円 減益予測

'19/3期

19・20年度の成長に向けた準備として、労働力確保と設備増強により、減益を見込むものの、生産性向上の強化と経費削減の徹底を図り、利益向上をめざす。

2019年3月期 公表値の概要

【売上高】 1,146億円 → 1,150億円 (+3億円、0.3%増)

＜主な増収要因＞

- 中国受注増(+10億円)
- バキュームポンプの増(+13億円)、EGRバルブの増(+7億円)
- トランスミッション用ダイカスト製品 新規受注等(+4億円)
- バランスシャフト用樹脂歯車 増(+3億円)

＜主な減収要因＞

- 足回り部品の減(△20億円)
- 軸受事業(△10億円)
為替の影響、カークーラ用軸受の減
- 設備・金型の減(△5億円)

【経常利益】 67億円 → 57億円 (△10億円、16.0%減)

＜主な減益要因＞

- 労務費の増(△10.5億円)
- 減価償却費の増(△9億円)

※一過性な減益要因として、大豊岐阜の設備リース(△3億円) 定率法と定額法の差を含む

- 為替変動による影響(△2.5億円)

1. 2018年3月期 実績

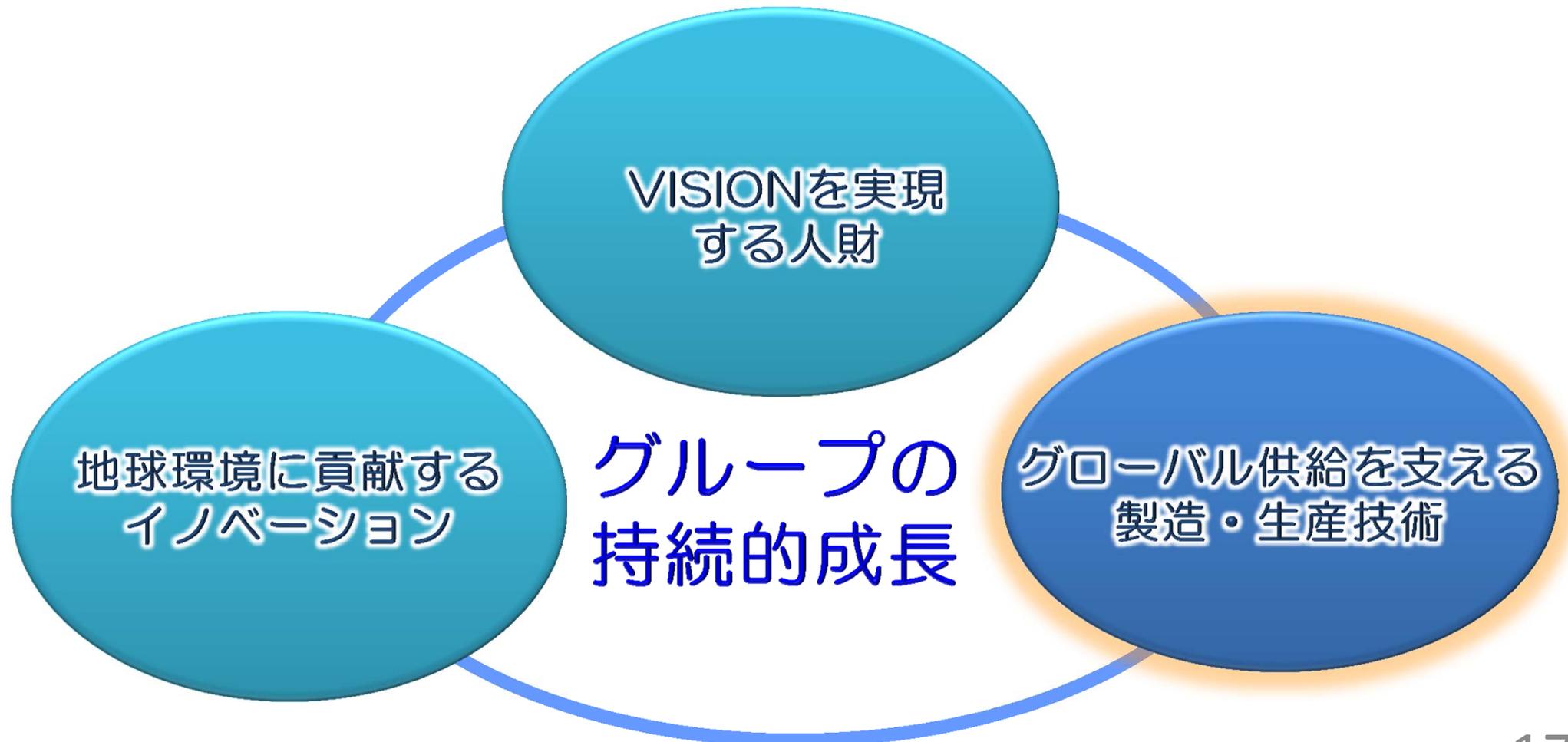
2. 2019年3月期 計画

3. 将来への取組み

大豊グループの『VISION2020』

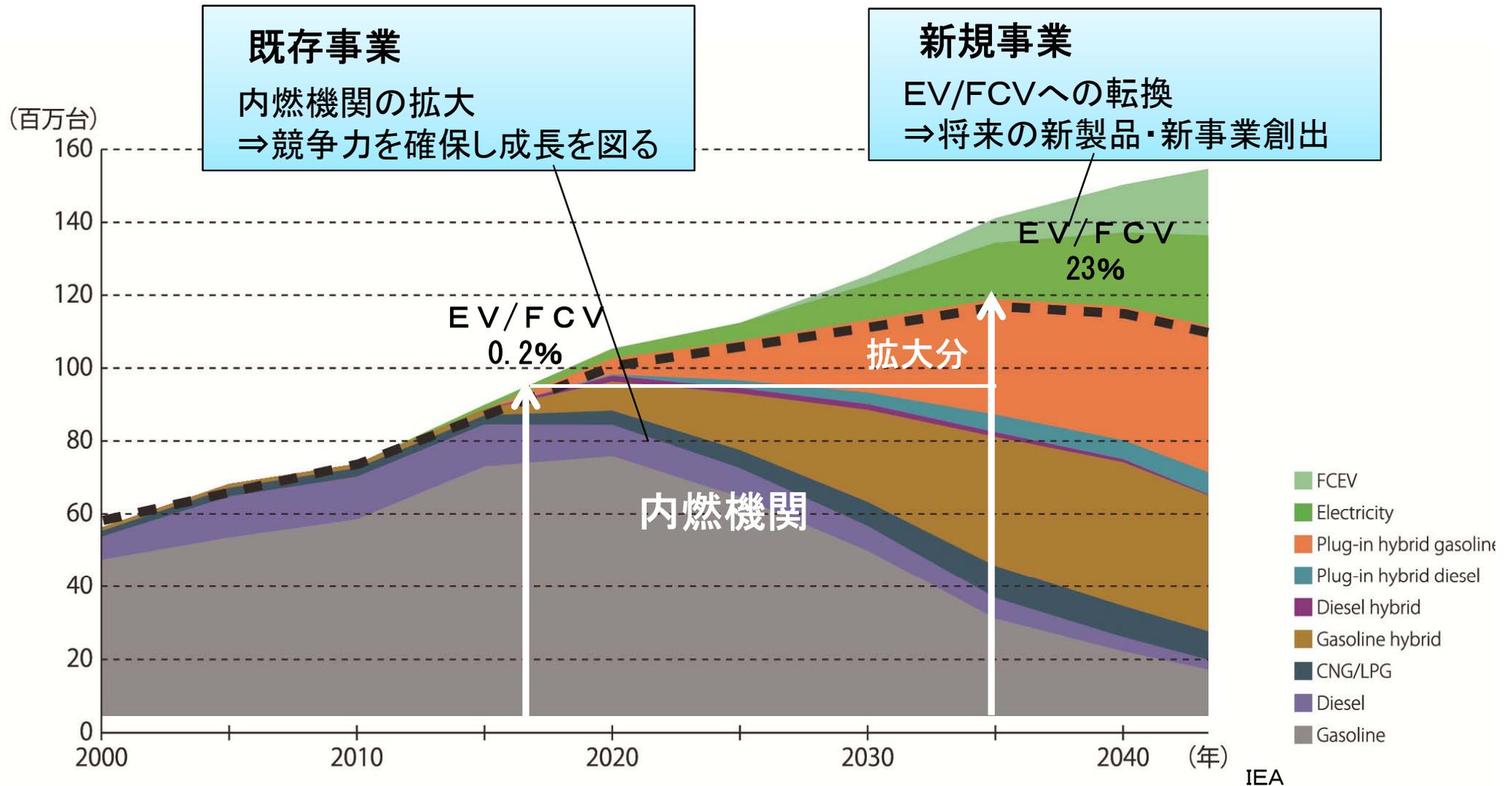
VISION2020 ～地球環境とお客様への貢献～

トライボロジーをコアに、軸受をはじめとした環境に貢献する製品を迅速に生み出し、グローバルにお客様へお届けする



グローバル供給を支える製造・生産設備

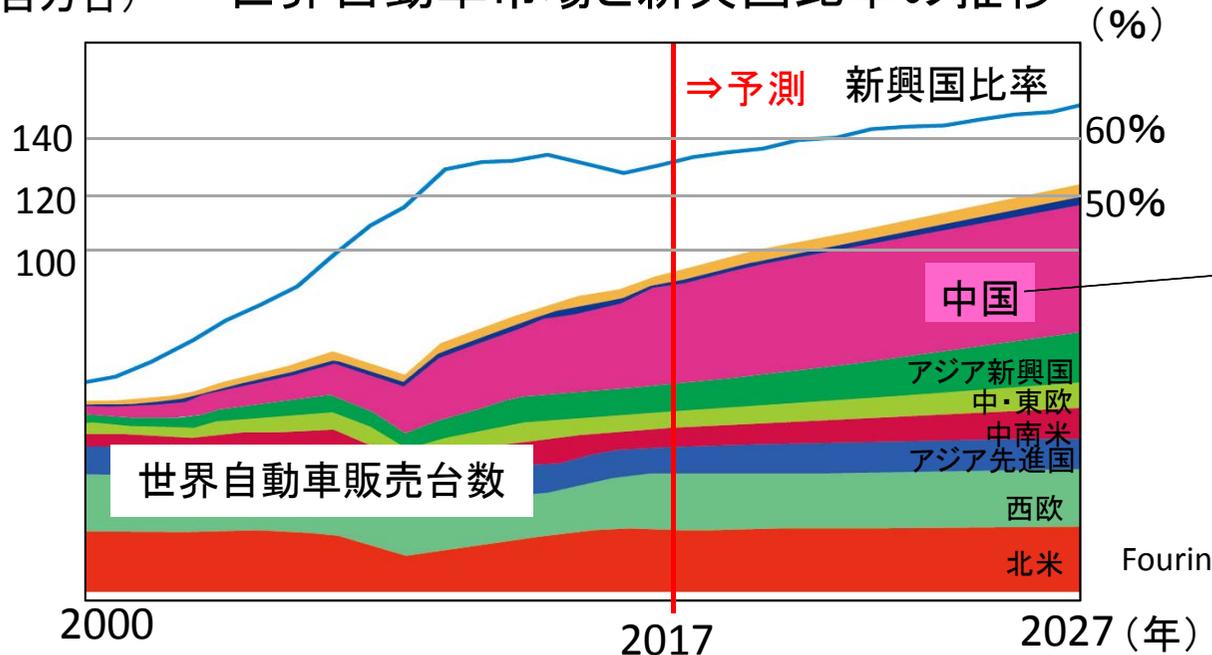
世界自動車市場の予測(パワートレーン別)



自動車販売台数は伸び続け、内燃機関も進化・拡大
EV/FCV等の電動化にも新規事業で対応していく

グローバル供給を支える製造・生産設備

(百万台) 世界自動車市場と新興国比率の推移



- ・世界自動車生産台数は拡大し、新興国比率はさらに伸び続ける
- ・新興国のなかでも中国が世界自動車市場を牽引今後も伸びると予測

【中国市場の状況】

- ・外資、民族系自動車メーカーが約50社
- ・小型車取得減税等で購入層が増加中
- ・高速道路網が急速拡大(北米に匹敵)
- ・過積載規制でトラック買い替え需要増

群雄割拠の中国自動車市場で、民族系も量から質に転換

- ・民族系メーカーからエンジン用すべり軸受の受注増
- ・ディーゼルエンジン用すべり軸受も今期好調

グローバル供給を支える製造・生産設備

中国での生産体制強化

エンジン用すべり軸受 加工ライン増強(TCY)



好調な中国市場に対応するため、加工ラインを増設。
民族系、外資系の受注増により増強。
('15年比で100万台/年増に相当)

樹脂コーティングライン増強(TCY)



小型、高性能エンジンの需要拡大に対応するため、樹脂コーティングラインを増設。

中国での生産体制強化

TCY 第3工場建設(10月竣工)



- ・6,000㎡の工場を建設中
- ・拡大する中国市場へ対応するため、軸受生産ラインの増産スペース確保。

WBM 軸受素材生産ラインの品質・生産能力増強



- ・アルミ鋳造ライン導入で、高品質な軸受素材の生産能力をさらに増強。
- ・完全な一貫生産体制により効率向上。

大豊グループの『VISION2020』

VISION2020 ～地球環境とお客様への貢献～

トライボロジーをコアに、軸受をはじめとした環境に貢献する製品を迅速に生み出し、グローバルにお客様へお届けする

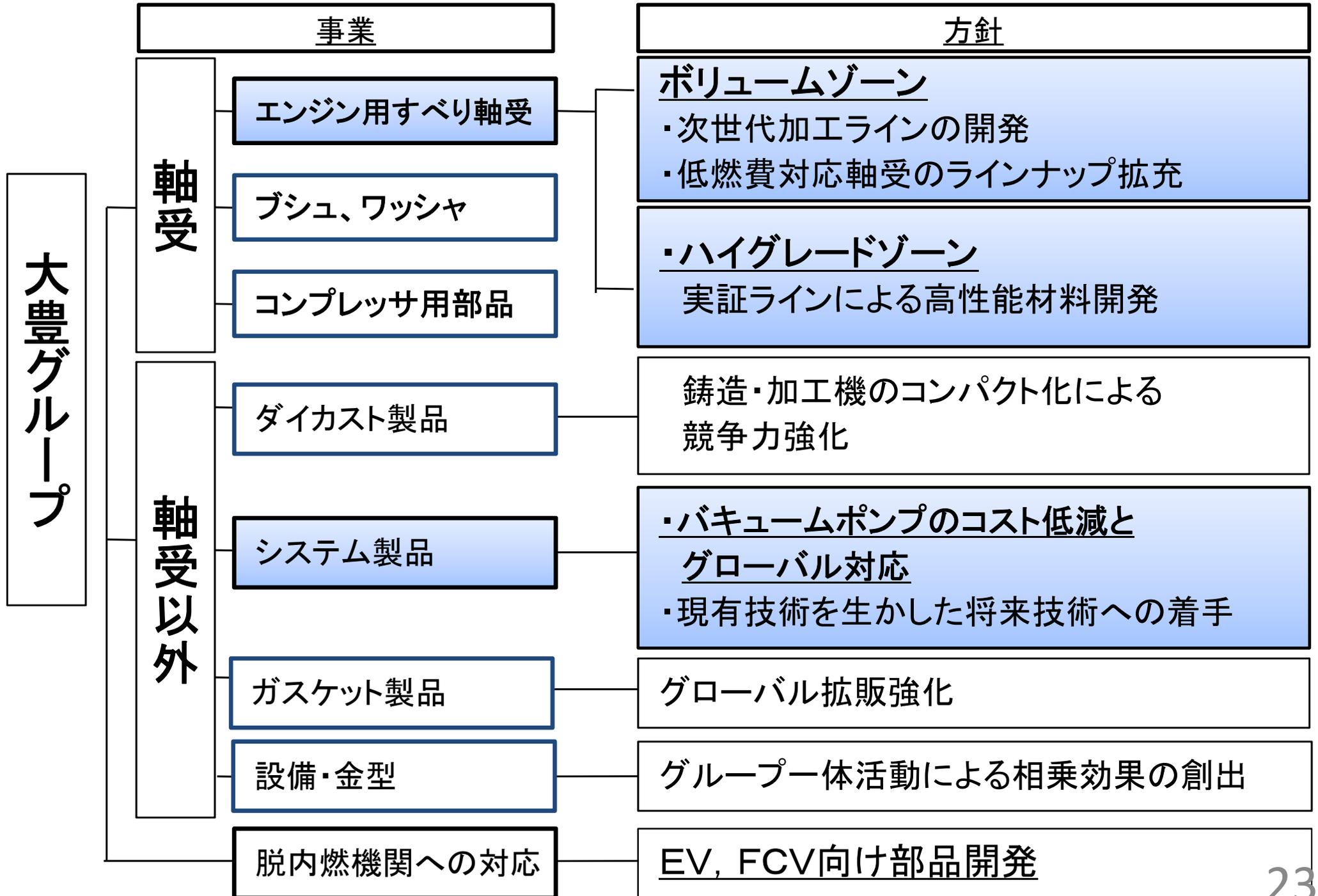
VISIONを実現
する人財

地球環境に貢献する
イノベーション

グループの
持続的成長

グローバル供給を支える
製造・生産技術

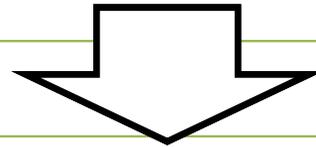
地球環境に貢献するイノベーション



エンジン用すべり軸受 <ボリュウムゾーン>

大衆車市場の対応

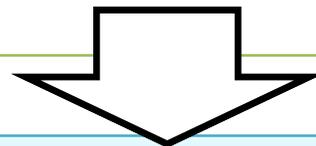
- ・新興国市場の拡大・良品廉価な小型車戦略
- ・現地調達化の促進



これまでの取り組み

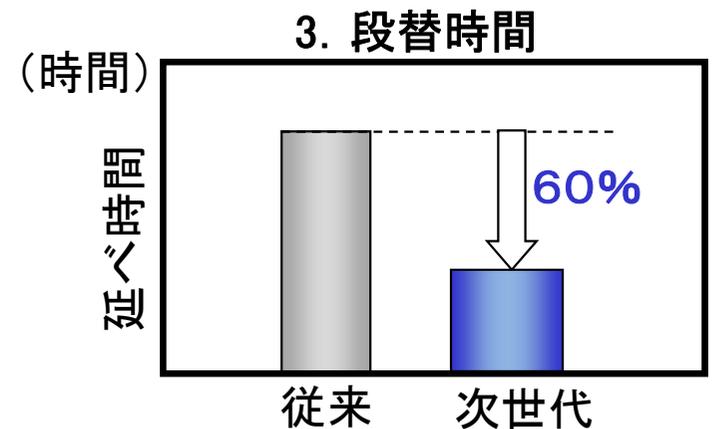
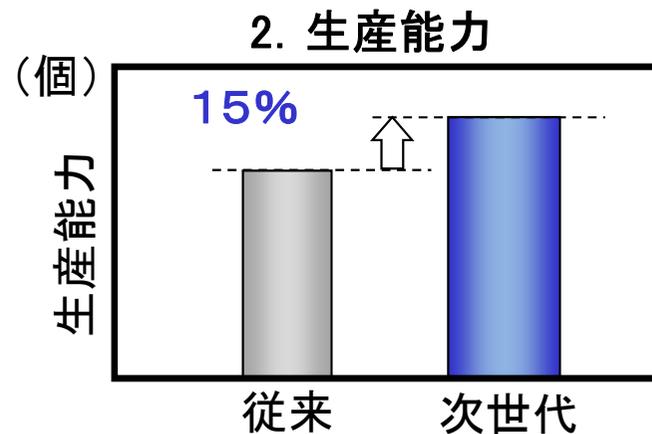
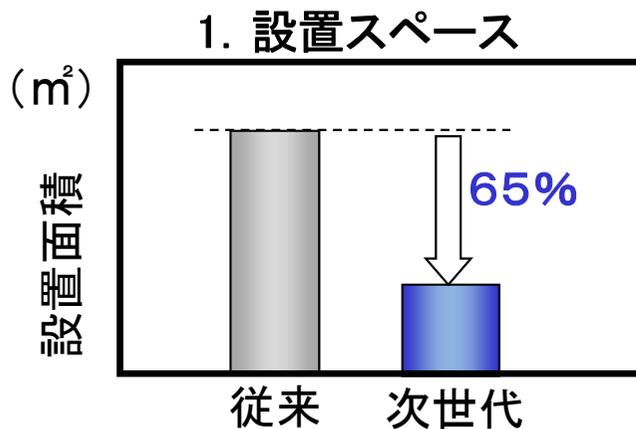
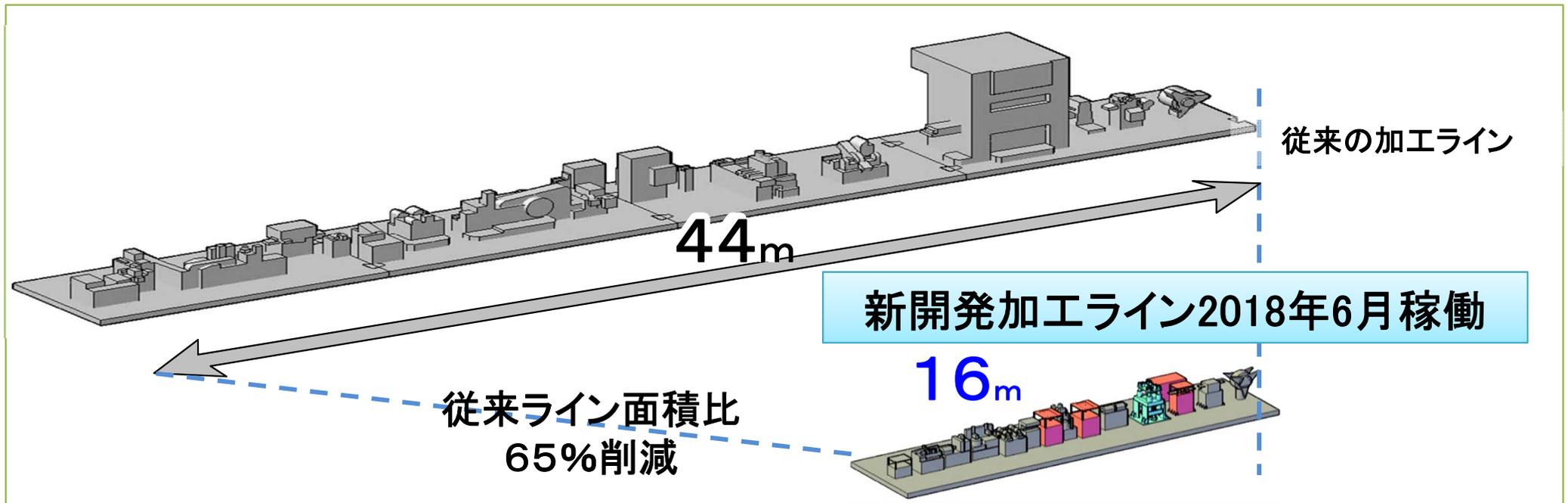
- ・低コスト化対応
- ・グローバル同一品質

- ・RR(良品廉価)加工ラインの開発、海外導入(インドネシア)
- ・樹脂コーティングラインの海外導入(北米、中国)
- ・自動外観検査 等



さらなる競争力強化に向けて、次世代加工ラインを稼働
(高効率化、設備投資 低減)

エンジン用すべり軸受 <ボリュームゾーン>

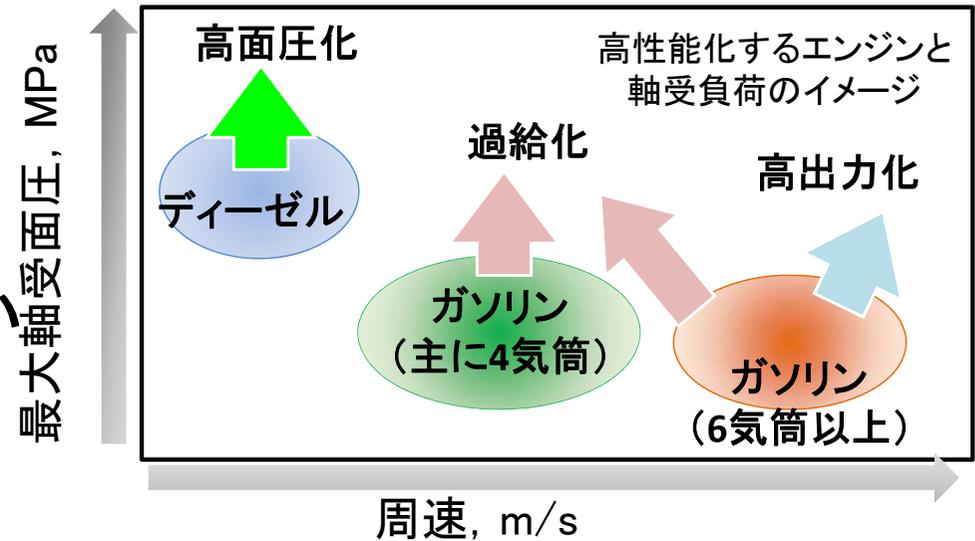


工法刷新、設備ダウンサイジング化により、生産性向上と設備投資低減を実現。新型エンジンに採用。

エンジン用すべり軸受 <ハイグレードゾーン>

高性能車市場への対応

- ・高性能エンジンの高出力化、高面圧化の軸受ニーズへ早期に対応しなければならない



他社を凌駕する高性能すべり軸受材料の開発体制を強化

素材実証ラインの稼働開始 (2017年10月、岐阜工場)



素材実証ライン火入れ式

新開発の高性能材料の製造要件を、実証ラインで検証・量産ラインへ反映し、早期に量産移行させる

高性能エンジンに使用できる新開発の高性能アルミ軸受を世界に先駆けて提案

システム製品 <バキュームポンプ>

高効率エンジンへの対応

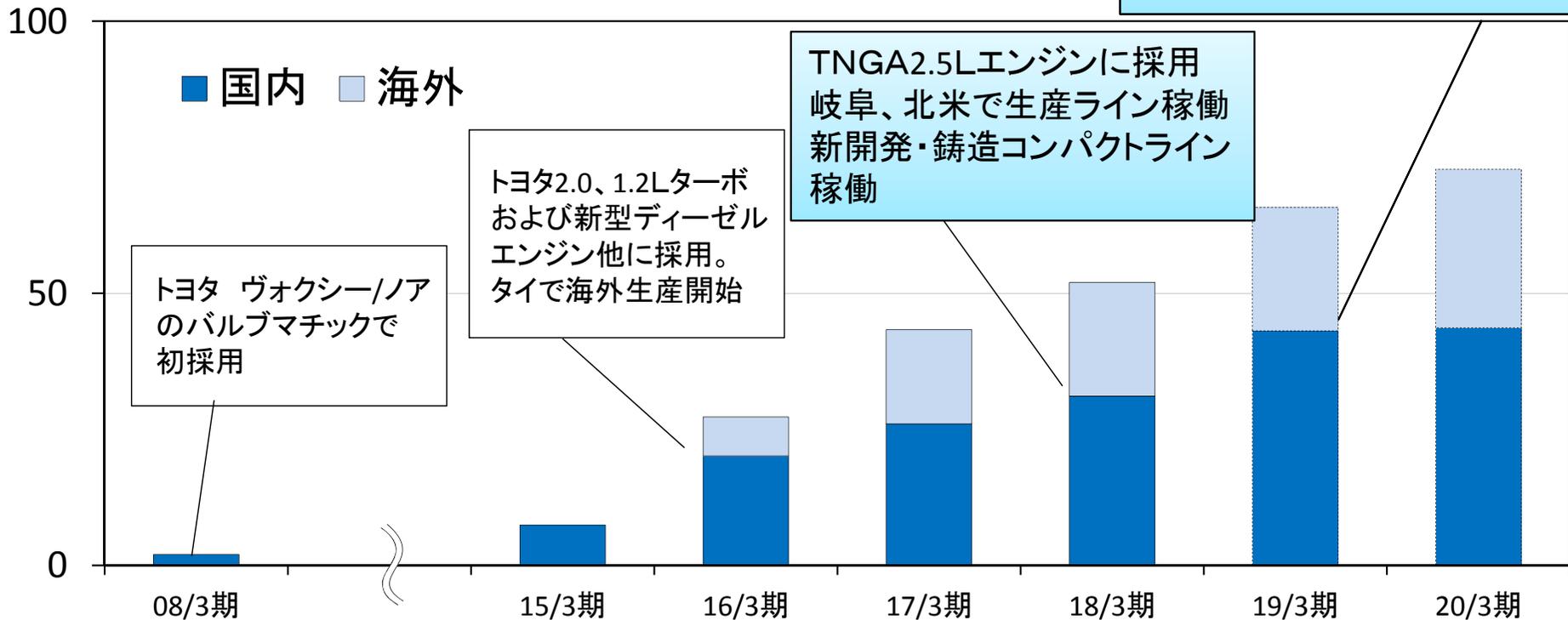
- ・低燃費エンジンの技術競争激化
- ・吸気損失を低減させた低燃費ガソリンエンジン開発により、バキュームポンプの需要増



(億円)

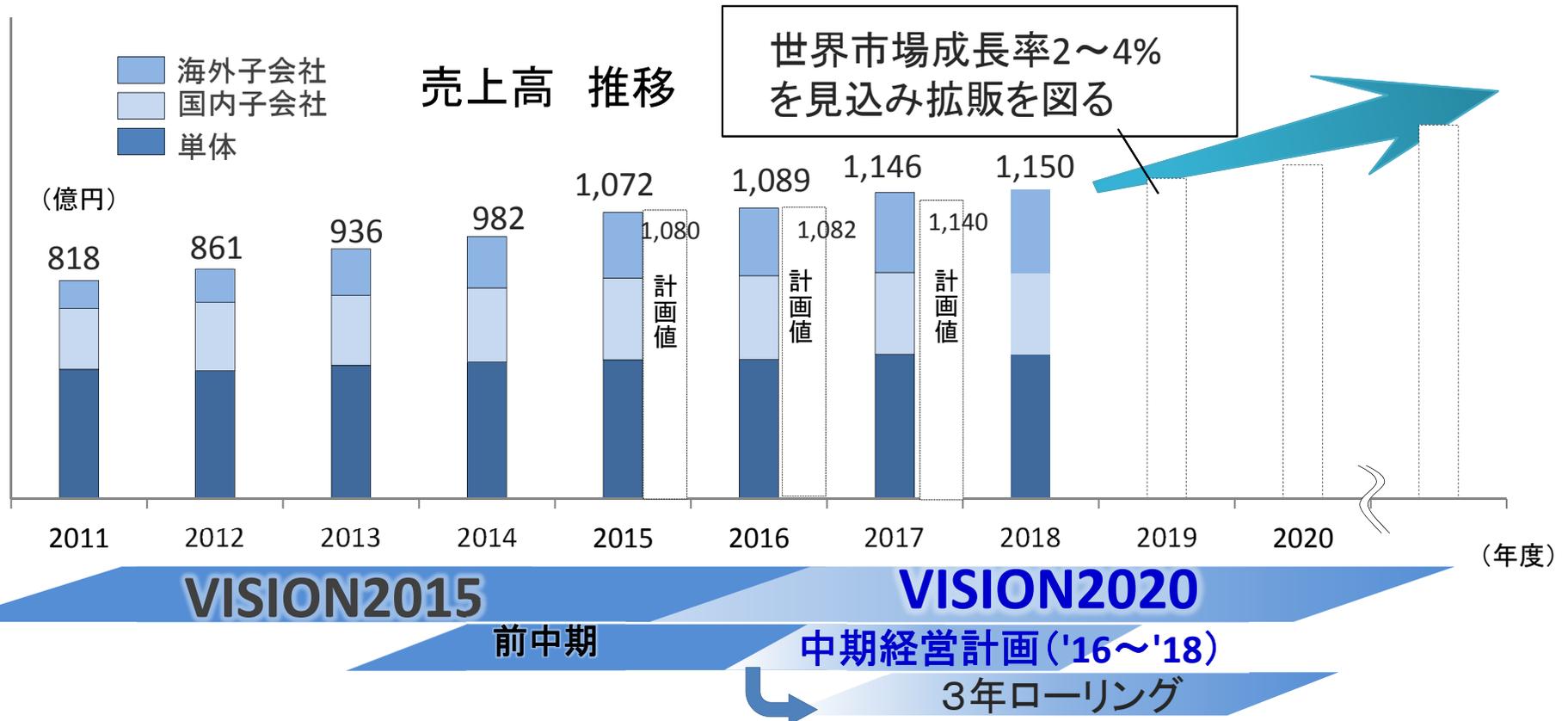
売上高推移と計画

バキュームポンプの採用さらに拡大



中期経営計画およびVISION2020

2011年度からVISION2015をスタート、2015年度に1000億円を再達成
中期経営計画(16~18年度)も計画通り進捗。



中期経営計画(16~18年度)の最終年度である当期は、
労務費、減価償却費の増で減益の見通しだが、3軸の活動を
加速・継続し、収益体質を強化してVISION2020を実現する



中期経営方針 2016-2018年度

ゆるぎない 「信頼と技術」で グローバルに躍進

- 技術・品質・原価の徹底追求により、世界トップの競争力を持つ企業となる。
- 人財・組織づくりとリソースの最大活用により、グローバル基盤を更に強化する。

TAIHO

ご清聴ありがとうございました。